

ビジョン実現に向けた方向性II <自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち>

シナリオ	将来への取組	指 標	阪神南		R4 との比較
			R4	R5	
5 未来まで続く花と緑と里山	里山のファンやサポーターを獲得、拡大する	①住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したいと思う	32.1%	37.0%	△
		①環境保全・創造に取り組むNPO等数(ひょうごボランティアプラザ登録団体数)	185団体	196団体	△
		②住んでいる地域では、山、川、海などの自然環境が守られていると思う	51.9%	51.9%	—
		②ひょうごアドプト(自治体が清掃美化活動用具を提供する支援制度)参加団体数	26団体	27団体	△
		②県民まちなみ緑化事業実施箇所数	14箇所	19箇所	△
6 みんなが憩う阪神なぎさ回廊	沿岸部の親水空間を知ってもらう	③川や海、山林などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたい【阪神南県民センター調べ】	33.6%	32.5%	▼
		④尼崎・西宮・芦屋の臨海地域の海辺の公園や遊歩道、観光スポットを訪れたことがある(尼崎スポーツの森、尼崎城、芦屋公園、潮芦屋ビーチ、武庫川河川敷、夙川公園、西宮市大谷記念美術館等、沿岸部の親水空間を「阪神なぎさ回廊」として周遊コースを設定)【阪神南県民センター調べ】	51.0%	52.3%	△
7 再発見で魅了する「阪神間モダニズム」	幅広い人に阪神間モダニズムを知ってもらう	(再掲)〇住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したいと思う	32.1%	37.0%	△
		⑤暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている	47.9%	37.8%	▼
		⑥住んでいる地域に愛着や誇りを感じる	73.7%	71.9%	▼
		⑦建築や文学、芸術作品などに代表される阪神地域特有の文化である「阪神間モダニズム」を知っている(作品例:ヨドコウ迎賓館、甲子園会館、武庫大橋、谷崎潤一郎「細雪」等)【阪神南県民センター調べ】	45.2%	39.2%	▼
		⑧国県指定文化財の件数	131件	132件	△
8 生涯の学びと次世代につなぐ阪神文化	学びの機会をつくり、専門的な人材を育てる	⑨国県登録文化財の件数	78件	78件	—
		⑧住んでいる地域では、伝統芸能・文化などが受け継がれている(キーワード:祭りなどの年中行事、民謡・民舞、能、歌舞伎、伝統工芸など)	24.3%	33.9%	△
		⑨目的を持って学んでいるものがある	41.1%	35.5%	▼
		⑩住んでいる地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思う	29.3%	25.7%	▼
		(再掲)●社会教育の推進を活動目的としているNPO法人数(団体数)	183団体	182団体	▼
		⑨特定非営利活動法人(NPO法人)年間認証件数	329件	325件	▼
		(再掲)●国県指定文化財の件数	131件	132件	△
(再掲)●国県登録文化財の件数	78件	78件	—		

(参考)

全県 R5	全県値 との比較	全県順位 R5
34.6%	△	4位
535団体		2位
55.2%	▼	6位
386団体		8位
264箇所		5位
34.6%	△	4位
37.6%	—	3位
63.8%	△	1位
1,465件		6位
789件		6位
39.2%	▼	9位
33.8%	△	3位
28.3%	▼	9位
1,034団体		2位
2,138件		2位
1,465件		6位
789件		6位

【表の見方】 ※1 指標のうち、〇は主観指標。●は客観指標。出典は、表記がない場合、兵庫県調べ
 ※2 R4(もしくは全県値)より大きいものは「△」、小さいものは「▼」、差異が1ポイント未満のもの(主観指標)は「—」で表示